

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (03-06)

団体名	(特非) TEAM・あげあげ	代表者名	代表理事 高橋 徹
事業名	合言葉は「地域での繋がり」		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
1 当初計画書に記載のあった法人事業			
5月15日	高砂市真浄寺保育園	22 (7)	第2回 BEAUTIFUL HARMONY～ 笑顔の輪を広げよう
8月11日	明石市総合体育館	24 (10)	明石防災ファンタジスタ (委託) (第一回 Bスポーツ～明石の変わった運動会)
10月9日	加古川市立総合福祉会館	32 (7)	はりま ADDM 第2回講演会(協力)
11月13日	高砂市伊保中部自治会館	8 (5)	講演会 「人生100年を豊かに生きる」
2 法人がサポートする学生による自主防災グループ TEAM-3A の事業			
6月4日	明石公園補助競技場	33 (4)	スポーツ推進事業 (委託)
7月16日	加古川市立総合福祉会館	6 (6)	「あにまるず」 体験会
7月31日	ウイズあかし	13 (5)	「あにまるず」 体験会
8月20日	明石市社会福祉センター	7 (3)	ワークショップ 「まちづくりについて考える」
8月21日	明石市鳥羽厚生館	17 (5)	「あにまるず」 体験会
8月22日	加古川市かわのまちほいくえん	12 (6)	かわのまちほいくえん 「ぼうさいきょうしつ」
8月27日	明石市総合福祉センター	10 (5)	「あにまるず」 体験会
11月26日	明石市立大久保小学校コミュニティセンター	36 (8)	「あにまるず」 体験会
12月17日	ひょうごボランティアプラザ	16 (3)	with ユース活動報告会
1月17日	明石市総合福祉センター	11 (4)	「1.17 から学ぶ①」

1月21日	明石市総合福祉センター	8 (6)	「1.17 から学ぶ②」
2月4日	加古川市防災センター	21 (4)	兵庫県防災士会東播エリア会議
2月18日	明石市立野々池中学校	28 (6)	「あにまるず」 体験会
1月25日	ウィズあかし	13 (6)	ウィズフェス 「みんなの学校」
3 TEAM-3A の公式イベント			
8月3日	人と防災未来センター	56 (8)	災害メモリアルアクション KOBE キックオフ
10月22日	神戸市 IHD センタービル	36 (12)	ぼうさいこくたい
11月19日	神戸市 IHD センタービル	48 (4)	災害メモリアルアクション KOBE 中間報告会
11月20日	明石市立藤江小学校	48 (9)	明石市総合防災訓練
1月7日	人と防災未来センター	57 (4)	災害メモリアルアクション KOBE2023
1月8日	兵庫県公館	(4)	令和4年度ぼうさい甲子園表彰式
4 連携高校のサポート事業			
8月2日	高砂高校	15 (3)	加印地区合同ミーティング
10月1日	東播磨生活創造センター	7 (5)	Kako-LAB フェス
11月6日	高砂市立中筋小学校	7 (3)	高砂市防災訓練

<効果と成果>

当法人の目指す「地域の繋がり」における4つのカテゴリー「地域の高齢化問題」「障害者の地域での共生」「地域コミュニティ」「地域防災」について新型コロナウイルスで中断していたイベントの復旧と新たな取り組みへのスタートという1年であった。その中ではすでに前年から動いていた「高校生による自主防災グループ」の活動については大学生や社会人も参加できる活動体への転換ができたことで大きく前進させることができた。地元紙（神戸新聞）による活動紹介、NHK番組への出演などで広く認知され、次年度から「ユース育成プログラム」を企画し大学や行政との連携で新たな展開に繋がる可能性が出てきた。また、東播磨西部の高齢化地域でコミュニティカフェの実施を計画している。2年半にわたる活動中断の影響もあり十分な活動であったとは言えないが、地道な活動がわずかながらも地域を動かす効果に結び付いた。その結果次年度に新たな事業展開が見込まれるようになったことがこの1年の成果と言える。

<今後の展望>

活動開始して間もない団体が単独で「地域の繋がり」を実現するのは困難である。実現に向けては関係する様々な組織や団体との連携が欠かせないことがわかった1年でもあった。そのことを踏まえて「効果と成果等」でも記載した通り、令和5年度から新事業として「未来を担うユース育成事業」と「高齢化地域でのコミュニティカフェ」を開始します。前者についてはすでに一定の成果が見られる明石市において市役所・社会福祉協議会の連携において事業推進の中核機関を設置してもらい、そこに関連する企業や団体の代表または担当者が参入さらに明石市内に在住する25歳以下のユース世代、市内の中学高校生から募集し集まったユースで活動グループを設立する。中核機関はユースグループの活動のサポートを全面的に行う。これは現在関係機関・団体に提案中である。後者については実施予定の地域の代表及び福祉委員、ボランティア団体との連携を図りながら開始する予定である。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	98,000
自己資金	96,827
会費	20,000
合計	214,827

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	謝金	14,000	14,000
	交通費	71,100	41,620
	消耗品費	6,980	6,980
	その他(保険料・会場費等)	11,100	6,000
	小 計	103,180	68,600
間接経費(一般管理費)		111,647	29,400
合 計		214,827	98,000